住宅用消火器の取り扱い方法

1. 安全ピンを抜く。

　火元近くまで行ってから安全ピンを抜きましょう。

2. ホースを火元にむける。

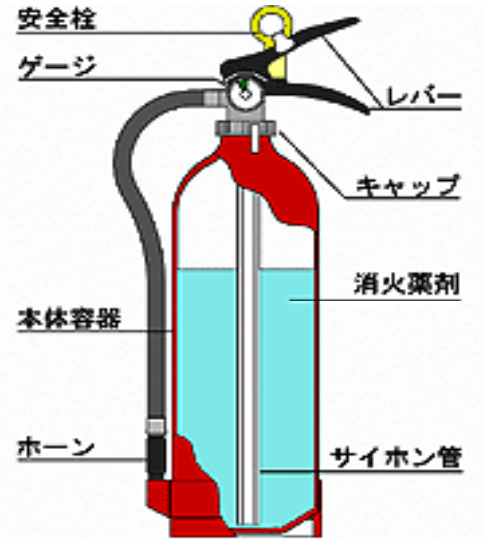
　ホースの先をしっかりにぎりましょう。

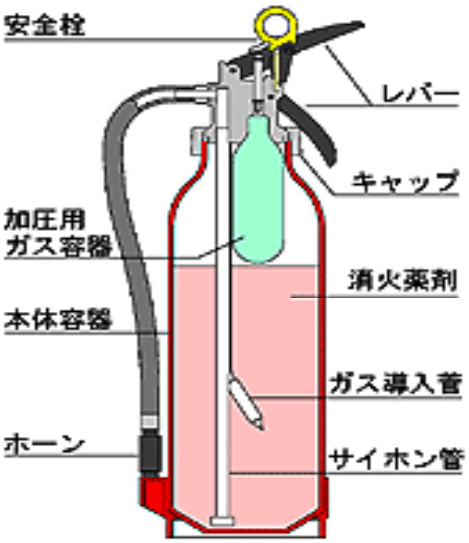
3. レバーをにぎる。

　レバーは強くにぎりましょう。

消火器容器の種類には大きく分けて「蓄圧式」と「加圧式」の2種類に分かれています。

◎　蓄圧式消火器（ゲージの付いている容器）　◎　加圧式消火器（ゲージが付いていない容器）





A　火災（普通火災）

・木材、紙、繊維などが燃える火災。

・このマークがついていれば普通火災に適応です。

B　火災（油火災）

・ガソリン、灯油、軽油、てんぷら油、石油ストーブ
　などの油類が燃える火災。

・このマークがついていれば油火災に適応です。

C　火災（電気火災）

・配電盤、変圧器、電気配線などが燃える火災。

・このマークがついていれば電気火災に適応です。

※　注意事項（発見から消火まで）

その１　火事を発見したら、まずは火事ぶれ！！

周囲の人に「火事だぁ～　！」と大きな声で知らせましょう。

その２　火の大きさを確認！！

炎が天井まで届いていたらアウト！　消火器では消せません。危険ですのですぐに避難し、消防隊の到着を待ってください。

炎が天井まで届いていなかったら、できるだけ多くの消火器を集め、一気に消火しましょう。

その３　消火器の放射時間は約１５～２０秒！放射距離は３～６メートル!!

ある程度、火に近づいてからレバーを握って放射してください。

離れすぎた位置でレバーを握ってしまうと、消火薬剤が火に届く前に薬剤切れになってしまいます。

近づきすぎると、薬剤が出るときの圧力で、炎が自分に降りかかってしまい大変危険です。

その４　火元を確認！！

炎は上にあがります。しかし、実際に燃えている物は炎の下にあるのです。炎に薬剤をかけるのではなく、「実際に燃えている物」に薬剤がかかるようにしましょう。

その５　ほうきで掃くように！！

１５秒間でいかに消火するか。

「実際に燃えている物」全体に薬剤がかかるよう、手前からほうきで掃くようにして近づいていき消火しましょう。

消火器の寿命

消火器の耐用年数は、取扱説明書および銘板に表示されています。消火器は使用しなくても、長年の間に老化します。耐用年数を過ぎると、性能や機能が低下することがありますので、耐用年数を過ぎたものは使用せず、お取替えください。

廃棄したい場合

不用になったからといって、消火器を普通のゴミとして捨てたり、放置したりしないでください。また自分で訓練だからといって使用することも絶対に避けてください。消火器は、非常に高い圧力で消火薬剤を噴出するメカニズムを持っているため、サビによる腐食や、キズ・変形のあるものは、その部分が圧力に耐えられずに破裂する危険性があります。

よって不用になったり、消火薬剤の詰替え等をしたい消火器は、事故防止のために必ず専門の業者や購入された販売店にご相談ください。　また、消火器はゴミとして回収しませんので、絶対に出さないでください。

消火器等の悪質な訪問販売に要注意！

一般家庭での消火器の訪問販売に関するトラブルが多く発生しています。悪質な訪問販売の手口も巧妙化し、消防職員や消防団員を装い訪問する場合もあります。消防職員は消火器を販売する行為は一切しておりませんので、十分にご注意ください。

（悪質訪問販売の手口）

・消防署の方から来ました。
・住宅にも消火器の設置が義務づけられました。
・耐用年数が過ぎたので交換の義務があります。
・家庭の消火器も詰め替えが必要です。
・市から補助金が出ます。

などと、言葉巧みに消火器を販売するケースが多く、日中高齢者だけになる家庭を狙った訪問販売が特に頻発しています。

あやしいな？と思ったら

1　はっきりと断りましょう！

2　あいまいな意思表示はしないでおきましょう！

3　契約書に安易にハンコを押さないでおきましょう！

4　身分証明書などの提示を求めましょう！